

# 平成29年度7月 定例会 議事録

前橋市国際交流協会  
日本語活動グループ  
記入者： JF

日 次： 7月15日（土） 13：00～15：15  
場 所： 前橋市中央公民館 5階 第503学習室  
出席者： 19名（うち事務局2名）

## 1. 事務局長挨拶

挨拶資料として、日本語活動かけはし第6号を発行した。平成29年度は協会設立30年を迎える。各種団体や協会関係者との意見交換会を実施し、今後の協会組織や運営の在り方について意見を聴取していく方針。皆様にも裏面の内容で、本日意見交換会をする。

## 2. 第1期各クラスの報告

《水曜・午前》

- ・夏になり、外国人参加者が減ってきた。

《土曜・午前》

- ・外国人参加者が減ってきた。今日は12名。企業研修生が減った。ボランティアは6名。

《水曜・夜》

- ・クラスⅠ：人数バラバラ。3週間誰も来ない期間があった。現在、2，3名で推移。
- ・クラスⅡ：5人継続しており、N3～4レベル。会話希望なので取り入れている。
- ・クラスⅢ：SさんMさん共に水曜、土曜の昼と夜参加しており、レベルアップしている。

《土曜・夜》

- ・クラスⅠ：最大13名まで増えたが、日常会話が初めての参加者が多かった。

ボランティアYさんの助けがあり、乗り切れている。

- ・クラスⅡ：N3検定を目指す参加者もいる。
- ・日本語くらぶ：参加者安定している。

《まとめ》全般的に学習者が減ってきているが、教室運営上での問題はないと理解。

## 3. ポトラックパーティー・日本語文化祭の反省

【事務局報告】

- ・ポトラックパーティー：参加者 77名。

《内訳》外国人13カ国 49名（うち日本語教室学習者17名）、日本人 28名。

- ・日本語文化祭：参加者 130名。

《内訳》発表者 12カ国 17名、当日スタッフ38名、来場者75名。

【註：日本語文化祭の反省会は別途予定が組まれており、ここではポトラックパーティーについてのみ議論した。】

- ・ 12人の外国人参加者と7人のボランティアからの感想・反省・提案（別紙）を紹介した。
- ・ 今後、チラシでの広報も含めてアルコール禁止のアナウンスをしっかり行いたい。
- ・ 外国人参加者は全般的に喜んでいて。
- ・ ギター演奏は喜んでやって頂いたことで、了としたい。
- ・ 毎年の事だが、ギター等演奏時、音響効果が良くないので来年からは、もう少し考慮が必要。
- ・ 受付テーブルは（昨年比べて大きくなったが）もう少し大きければ良かった。
- ・ 今年は駐車場が近くに手当て出来てよかった。
- ・ ゲームは必要以上に勝ち負けにこだわる参加者がいたのは気になる。
- ・ ボランティアが持ってくる景品は年によってばらつきがある。  
クリアホルダーが全員に配布されるので、参加者個々にわたる景品の差はやむを得ないのではないか。子供用の景品を作っておいたのはよかった。
- ・ ダンス系の遊びを取り入れてはどうか。
- ・ 関係者ではない、不特定多数の参加者があるのは好ましくないので、活動報告を報道してもらう形は維持して欲しい。来年は群テレ等へ直接働きかけることも考える。
- ・ イベントをフォトアルバムとして残すことについては継続検討する。

#### 4. 下期ワークショップのテーマ

- ・ 昨年は「かけはし」を利用してボランティアと外国人参加者との活動を録音した。その内容をPDCAを回しふり返し、ボランティアのスキルアップに結び付けた。事前にEさんにワークショップの進め方について講演をお願いした。
- ・ 今年については議論の結果、いくつかのテーマが出てきた。その内容を全員に周知する必要があるため、テーマ毎に提案者からその内容をまとめてもらいMリーダーに報告し、その概要をI期最終活動日(7月26日)にMリーダーから報告してもらうことにする。
- ・ 次の定例会(9月9日)でグループ分けする段取りとしたい。
- ・ テーマ(提案者)
  - ① 外国人参加者の初回の活動対応: ニーズ把握、レベルチェックのツール開発。(S,N)
  - ② 活動時の写真・イラスト素材(春夏秋冬、面白い写真等)作り。(N)
  - ③ 「ひらがな」を楽しく覚える教材作り。(Y)
  - ④ 日本語上級者に向けた教材作り。(S)
- ・ 学習会を開くかどうかについては講師をみつけるのが大変で難しい。

## 5. その他

- ・事務局長より資料（「日本語ボランティアの検討事項」）の説明があり、5回の見学後に日本語ボランティア活動をしていただくか、新規日本語ボランティア活動開始時にはボランティアリーダーと協会事務局とが確認しあうこととした。

- ・今後の協会組織や運営の在り方については、「外国人参加者からボランティアの教え方について評価してもらおう。」「ボランティアから出向く活動が必要ではないか。」等の意見がでたが、引き続き日本語活動グループ各位からの意見を聞き取り、年内にまとめる予定。

- ・新規ボランティアへのオリエンテーションを9月2日（土）13：30（場所未定）行うこととした。（講師：Y,N,N）

次回定例会：9月9日（土）13：00（場所；前橋市中央公民館）

議題：ワークショップの準備（テーマ及びスケジュール決定、グループ分けなど）

以 上

## 日本語ボランティアの検討事項

### 1 検討事項

現在、日本語ボランティア活動を希望される方は、活動の見学等で本人の意思で活動ができます。しかし、ボランティア活動をしていただく前の学習活動の見学終了時に、本人の活動の意向とともに、日本語ボランティアとして適任者か、確認が必要ではないか。

### 2 日本語ボランティアの条件（現行）

下記の内容を説明し、日本語支援活動を5回見学後に日本語ボランティア活動を行うか、本人が判断します。

#### (1) 日本語ボランティアグループに参加するために

前橋市国際交流協会(以下 MIA)日本語ボランティアグループに参加を希望する方は、次のことを心がけてください。

- ①MIA の「日本語ボランティアグループ」に登録してください。
- ②グループの指定した書籍に目を通してください。
  - ・「外国人と対話しよう にほんごボランティア手帖」(御館久里恵ほか編著・凡人社)
  - ・「日本語の教え方 ABC」(寺田和子、三上京子、山形美保子、和栗雅子・アルク)
  - ・「日本語ボランティア『生の声』集」(前橋市国際交流協会日本語活動グループ)
- ③最初に、活動のためのガイダンスを担当者から受けてください。
- ④日本語支援活動を見学して、見学表を書いてください。

少なくとも5回以上。詳しくはMIA事務局にお尋ねください。
- ⑤定例会(月1回)に出席してください。

活動する前に最低2回、その後も継続的に参加してください。

#### (2) ボランティア活動上、お互いに気をつけたいこと

- ①日本語での交流の場です。“自分の語学レッスンの場”にならないようにしましょう。
- ②外国人参加者から、日本語活動以外のことについて相談を受けた場合(例えば仕事や保証人についてなど)は、個人的に処理しないで、必ず MIA 事務局に相談してください。
- ③この活動は「グループメンバー全体で運営していく」という考えを基本にしています。時間に余裕のある方は水・土曜日の日本語活動だけでなく、グループの運営にも積極的に参加してください。
- ④自分の担当する方だけでなく、メンバー全体で助け合うよう心がけましょう。
- ⑤この活動は一方的に『教える』のではなくお互いに学びあい、交流することを目的としています。日本語活動に参加する外国人参加者、ボランティアはお互いを「～さん」と呼び合いましょう。

### 3 今後の考え方

今後、日本語ボランティア活動のボランティアをさせていただく方の確認として、5回の見学後に、ボランティアが活動希望の各曜日少人数レッスン又は日本語教室（夜間）と協会事務局が、ボランティアとして活動していただくか、協議（確認）する。

#### 【上記のことが決まった場合は協議事項等を整理する】

例：ルールを守って活動できるか。

精神的に問題ないか。

### 4 日本語ボランティアの活動の流れ

現 行	今後の対応案
①本人の日本語ボランティア活動の意志 ↓	①本人の日本語ボランティア活動の意志 ↓
②国際交流協会事務局に相談 ↓	②国際交流協会事務局に相談 ↓
③国際交流協会日本語ボランティアの説明 ↓内容確認・了解	③国際交流協会日本語ボランティアの説明 ↓内容確認・了解
④日本語支援活動を5回見学 ↓見学報告書の提出	④日本語支援活動を5回見学 ↓見学報告書の提出
⑤本人の希望で日本語ボランティア活動	<b>⑤日本語ボランティア活動のボランティアとして活動するか本人確認</b> ↓
	<b>⑥日本語ボランティア活動していただくか確認（事務局・各リーダー等）</b> ↓
	<b>⑦日本語ボランティア活動希望者に活動していただくかの連絡</b>